

質 問 一 般

第193回
定例会より

ここが聞きたい 市政をたず

3月10日、11日に行われた質疑・一般質問には15人の議員が演壇に立ち、議案や市政全般にわたり活発な質問が展開されました。
その一部を紹介します。



もっと詳しく!!
平成15年度予算、学童
保育園設置、国民健康
保険、介護保険 etc!!
聞かせてちょうだい。

小児医療

Q 市民は小児医療や小児救急医療の充実を求めているがどう受け止めているか。総務省の支援方針については。

A 小児医療は自治体病院にとって不採算部門であるケースが多く、小児科を縮小、廃止する自治体病院も増えている。小児救急医療の充実が市民ニーズであることは承知しているが、財政的な面からも、現在の北播磨管内の輪番制を維持するのが精一杯である。

小児医療サービスの充実に
関しては、県、市、医師会の
三者が中心となって広域的な
運営で小児救急センターを設
立するしか方法がない。また、
総務省の支援策である特別交
付税措置は先に述べた自治体
病院における小児医療の不採
算の補填を目的としている。
今後、国の具対的な方策決定
を待つて検討していく。



学校給食

Q 地元産の食材を使った学校給食の導入と市内全中学校での学校給食実施は可能か。

A 学校給食では主に規格品の統一、1ヶ月使用量用の確保、返品の補充確保、安全衛生管理等が確認できる業者が条件となる。また、現在、使用する個々の材料1ヶ月分について入札を行い、落札業者が毎日定時に納入している。

以上のことを鑑みれば一栽培農家からの食材購入は困難である。しかし、業者が地元農家から食材を仕入れ納入できるのであれば可能である。
現在、市内4中学校のうち学校給食が実施されているのは加西中学校1校のみである。他の中学校で学校給食が実施できない理由として、0157や食中毒対策として設備規格が厳しくなり、食材の検収、消毒施設など規格に適合した設備導入により現存の給食センターでは他の3校分の給食を提供する調理場所が無いことが挙げられるが、この問題については小中学校の大規模改造や宇仁小中学校の新築移転事業の進捗に沿って市内全中学校での学校給食実現のため、給食センターの増設も検討する予定である。
市内中学校の全域での学校給食については保護者の強い要望もあることから前向きに考慮していきたい。

教育施設

Q 教育施設の改修計画と緊縮財政を踏まえ、今後の方針について。

A 教育施設の改修については建築年度による経年劣化を考慮し、建設事業計画によりプールや体育館の改修及び下水対応工事を施工している。平成15年度の具体的な取り組みは左記のとおりである。

厳しい財政状況の下で財政再建に向け事務事業や建築事業の見直し、投資的経費の圧縮や政策評価制度の導入も決定し、今後は更なる緊縮財政施策が予想されるが、学校教育施設の改修は児童、生徒が安心して学べる場を提供するものであり、財政担当部局ともよく協議し、計画実施を図りたい。

- ・富合小学校 便所の水洗化工事
 - ・日吉小学校 プール改修工事
 - ・泉小学校 体育館屋根改修工事
 - ・賀茂小学校 プール浄化装置改修工事
 - ・北条小学校 プール改修工事(設計)
- (予算総額 2023万8千円)